

「地域の力を学校へ」推進事業の実践校（平成30年度実施分）



千人針を手にする生徒

テーマ

Theme

滋賀に残る戦争のつめあと

学校・園名

School name

甲賀市立甲賀中学校

講師等

Lecturer etc.

滋賀県平和祈念館

実施日

Date

2019年3月19日

教科等

Subject etc.

学級活動

授業

Class



授業の内容は、70年以上前の15年にわたる戦争の悲惨さを学び、今という日々を考え平和を尊ぶというものです。

中学生が親元を離れ「地雷づくり」をしていた映像を見たり、軍服や焼夷弾、赤紙など、実際の資料や遺品などに触れたりしながら、生徒達は当時の想いを受け止め、講師の話を静かに聞いていました。また、映像の中のインタビューで「あれほど悲惨なものは見たことはなかった。」「戦争は誰のために何のためだったのか。」からは、当時の苦しい思いが心から伝わってきました。

最後に、講師は「26年後君たちは何をしていますでしょうか？戦後100年がくると、当時の記憶が残る人はほとんどいなくなるでしょう。今日、家に帰って家族にこの授業の話をするのも君たちからできる『平和学習』になります。私たちが続けていけることをしていきましょう。」とメッセージを送られました。

感想

Impression

on

生徒より Impression from Children

- 今までは滋賀で戦争の被害があったとは知らなかったけど、身近な場所で起こっていたのだと知った。
- 防空壕は自然にできた洞穴だと思っていたが、隠れるために人がつくったものだとして初めて知った。
- 分りやすく、見やすく、実物にさわることでもできたのでとても良かったです。
- 戦争のあった時代を体験していないからこそ、私達が学び、次の世代に伝えていこうと思いました。
- 修学旅行は沖縄なのであまり関係ないと思っていましたが、滋賀でも戦争の影響があったことを知って修学旅行への気持ちが変わりました。

学校より Impression from school

- 非常に分りやすく説明していただいたおかげで有意義な講演(学習)になりました。時間もちょうど良い長さでまとめていただいてこの連携を今後も続けたいと思いました。
- 打ち合せの段階から細かくレジュメにまとめていただいたのでこちらも準備がしやすかったです。

講師より Impression from lecturer

- 学習する機会が限られており、今回のように見てさわって考えて頂けるとより身近に感じてもらえたのではないかと思います。